



Install Wizard のコマンドライン オプション

この付録では、システム管理者がバッチプロセスで Install Wizard を便利に使用できるように、Install Wizard 1.6 (IWSetup.exe) のコマンドラインオプションについて説明します。

この付録では、次の項目について説明します。

- [コマンドラインオプション \(P. A-2\)](#)
- [応用例 \(P. A-3\)](#)

コマンドラインオプション

Install Wizard 1.6 でサポートしているコマンドラインオプションは、次のとおりです。通常のインストールでは、C:¥WINNT¥Cisco¥DInstall ディレクトリ (Windows 2000 の場合)、または C:¥WINDOWS¥Cisco¥DInstall ディレクトリ (Windows XP の場合) の MS-DOS ウィンドウから実行することになっています。



(注)

これらのコマンドは、システム管理者の方を対象に用意されています。

- **/noclean** : クライアントアダプタソフトウェアをアンインストールした後もコンピュータにインストールファイルを残しておくことができます。このコマンドは通常、次の例のように `/uninstall` コマンドと一緒に使用します。

```
IWSetup /uninstall /noclean
```

このコマンドシーケンスにより、クライアントユーティリティ、ドライバ、ファームウェアは削除されますが、インストールファイルは C:¥WINNT ディレクトリまたは C:¥WINDOWS¥Cisco¥DInstall ディレクトリに残ります。アンインストールプロセスが完了したら、Install Wizard コンフィギュレーションバイナリファイル (CiscoAdminConfig.dat) を別のインストールオプションを格納した新しいバイナリファイルに置き換えて、Install Wizard を再度実行することができます。

- **/noreboot** : Install Wizard による再起動プロンプトが表示されないようにします。このコマンドはインストールプロセス中またはアンインストールプロセス中に使用できます。次の例のように `/silent` コマンドと一緒に使用してください。

```
IWSetup /noreboot /silent
IWSetup /uninstall /noreboot /silent
```

このコマンドラインシーケンスにより、インストールプロセスまたはアンインストールプロセスが完了しても、バッチプロセスを続行することができます。このコマンドラインシーケンスは、Install Wizard コンフィギュレーションバイナリファイル (CiscoAdminConfig.dat) を書き換えます。このため、このバイナリファイルを置き換えるか書き換えない限り、それ以降の Install Wizard 操作で再起動プロンプトが表示されなくなります。



(注) `IWSetup /noreboot /silent` コマンドラインシーケンスは、Cisco Aironet Configuration Administration Tool (ACAT) で *Global Override Settings - Silent Setup Options - Do not reboot* 設定を実行した時と同じ結果になります。

- **/silent** : ユーザの操作を必要としないサイレントプロセスを実行するよう指定します。次の例のように、通常、インストールプロセスまたはアンインストールプロセスの指示に使用します。

```
IWSetup /silent
IWSetup /uninstall /silent
```

このコマンドシーケンスにより、クライアントアダプタソフトウェアのサイレントインストールまたはサイレントアンインストールが実行されます。このコマンドラインシーケンスは、Install Wizard コンフィギュレーションバイナリファイル (CiscoAdminConfig.dat) を書き換えます。このため、このバイナリファイルを置き換えるか書き換えない限り、それ以降の Install Wizard 操作でユーザの操作が不要となります。



(注) クライアントユーティリティとドライバインストールの画面は表示されますが、Install Wizard のダイアログが表示されなくなります。

- **/uninstall**: クライアントアダプタソフトウェアをアンインストールします。このコマンドにより、アンインストールをバッチ操作で行うことができます。このコマンドは通常、次の例のように **/silent** コマンドと一緒に使用します。

```
IWSetup /uninstall /silent
```

応用例

この手順では、コマンドライン オプションの IT における使用例を説明します。この例では、Cisco Aironet のクライアントユーティリティと Gina ファイルを削除し、Cisco Aironet ドライバを使用するサードパーティ製のものと置き換えることを目的とします。これには、クライアントアダプタソフトウェアをアンインストールし、ドライバとファームウェアだけを再インストールするのが普通です。ところが、このコマンドライン オプションを使用すれば、システム管理者がこの操作をバッチプロセスで行えるようになります。

ステップ 1 Install Wizard 1.6 をインストールするか、または Install Wizard 1.6 にアップグレードします。

ステップ 2 インストールが完了したら、C:\WINNT ディレクトリまたは C:\WINDOWS\Cisco\Install ディレクトリにある MS-DOS ウィンドウから **IWSetup /uninstall /noreboot /noclean** を実行します。このコマンドライン シーケンスによって、クライアントアダプタソフトウェアはアンインストールされますが、インストールファイルは残ります。



(注) **/noreboot** コマンドによって通常の再起動プロンプトが表示されなくなり、**/noclean** コマンドによってインストールファイルが C:\WINNT ディレクトリまたは C:\WINDOWS\Cisco\Install ディレクトリに残ります。

ステップ 3 コンピュータを再起動します。



(注) クライアントアダプタをコンピュータに挿入している場合は、ドライバの場所の入力を求めるプロンプトが表示されたらすべて無視またはキャンセルしてください。

ステップ 4 ACAT から、ドライバとファームウェアのみをインストールするコンフィギュレーションバイナリファイル (CiscoAdminConfig.dat) を生成します。

ステップ 5 このコンフィギュレーションバイナリファイルを、C:\WINNT ディレクトリまたは C:\WINDOWS\Cisco\Install ディレクトリにコピーします。ACAT で生成したファイルによって、今までの Install Wizard コンフィギュレーションバイナリファイルが置き換えられます。

ステップ 6 C:\WINNT ディレクトリまたは C:\WINDOWS\Cisco\Install ディレクトリにある MS-DOS ウィンドウから **IWSetup /silent** を実行し、再起動します。インストールが完了すると、Cisco Aironet クライアントアダプタドライバとファームウェアのみがインストールされます。

ステップ 7 目的のサードパーティ製ソフトウェアをインストールします。

